

科目名	運営管理	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日1限 月曜日2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
将来皆さんが美容師として働く際に役立つ専門知識だけでなく、顧客として、従業員として、経営者としての観点から普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。 目的:経営者、従業員、顧客など様々な視点から基本的な知識を学び、美容の技術を習得する皆さんの力を顧客のために活かせるようにすることを目的としています。 概要:美容師国家試験の筆記試験科目の1つです。この科目では、経営者の考え方や経営が果たす責任・役割や接客サービスについて、また「年金、健康保険、雇用保険、労働者災害補償保険等」の各種保険や資金管理・税金について学びます。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師(社会人)に必要な基本的な知識を身に付ける。 様々な立場からの「物の見方・考え方」ができるように視野を広げる。 世の中の変化と競争に対し、柔軟な対応ができる美容師になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 運営管理 (授業内容に応じて資料配布)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	本科目の説明 経営とは・経営者とは						
2	理容業・美容業の経営について					5点	
3	資金管理(収支・損益・コスト・税金)						
4	人という資源・労働者の権利					5点	
5	従業員としての視点から・社会人としての責任・社会保険①(公的年金)						
6	社会保険②(医療保険)						
7	中間試験 (中間試験終了後)社会保険②(医療保険)					中間テスト 20点	
8	中間試験の解説 社会保険③(労働保険)						
9	健康・安全な職場環境の実現・美容の仕事と健康問題					5点	
10	サービス・デザイン						
11	サービス・マーケティング						
12	サービスにおける人の役割・接客の実践					5点	
13	接客の実践・接客におけるトラブルと対応						
14	定期試験					定期テスト 60点	
15	定期試験の解説、国家試験について						
【特記事項】 小テストは、Teamsを使用します。 中間試験、定期試験は、問題と解答用紙を配布して実施する予定です。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	購読演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中村 友紀
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	月曜日2限 月曜日3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験のある教員が、自己分析、グループワーク、お客様体験を通して、職業観を養う。 クラス会議を通し、自己受容・他者信頼・他者貢献を養い、職業人に必要なコミュニケーション力やプレゼンテーション力を身に付ける。							
【授業を通じての到達目標】							
社会人として必要な、共同体感覚を高め、自主的に行動することが出来る。 業界、職業理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad 筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	目的・目標の確認 クラス会議の立ち上げ①						
2	クラス会議 傾聴トレーニング (傾聴トレーニングを通じて、コミュニケーションへの意欲を高める)					5点	
3	クラス会議 傾聴トレーニング (傾聴トレーニングを通じて、コミュニケーション力を身につける)						
4	クラス会議 異なる見方・考え方 (アクティビティを通じて、多角的にものごとを捉える力を身につける)					5点	
5	クラス会議 議題を集める (議題の提示を行う中で、他者信頼の心を育み、カウンセリング力を身につける)						
6	クラス会議 問題解決 (共同体感覚を高め、他者貢献を身につける)					中間テスト 20点	
7	中間テスト(学内ルールの再確認) クラス会議 問題解決能力を身につける						
8	3つの習慣振り返り (自身の振り返り、自己分析を行い、主体性を育む)						
9	クラス会議 問題解決 / 就職活動への基礎力 (就職活動に向けて、マナーを身につける)					5点	
10	業界研究 (サロン調べを行い、業界についての理解を高める)						
11	自分の価値観を理解する (自己分析・好きの理解・価値観を深掘りし、就職活動への意欲を高める)						
12	他者の価値観の理解 (グループワークで互いの価値観をプレゼンし、視野を広げ、傾聴力も養う)					5点	
13	クラス会議 問題解決 業界研究 職種の違いを学び、自身の目指すサロンを見つける						
14	クラスの会議 立ち上げ② (共同体感覚の再確認)						
15	定期試験 前期振り返り 後期に向けての自己分析					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容技術理論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷 明日香
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	月曜日3限 月曜日4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容の基礎知識を習得する。							
(教員経歴) ヘアサロンにて美容師として勤務していた。美容師としての勤務経験をもとに、美容師としての基礎知識を習得できるようにする。 内容を理解できるよう、実際の教員の経験も交え、パワーポイントやプリントなどを用いて授業を進めていき、クイズなど演習問題を解きながら授業を展開します。							
【授業を通じての到達目標】							
実際にサロンでも活かせるよう、ポイントを踏まえながら理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 美容技術理論Ⅰ (授業内容に応じて資料配布)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	美容技術理論を学ぶにあたって・美容用具						
2	美容用具					5点	
3	シャンプーイング						
4	シャンプーイング					5点	
5	ヘアデザイン						
6	ヘアカッティング						
7	ヘアカッティング						
8	中間テスト					中間テスト 20点	
9	パーマネントウェービング					5点	
10	ヘアセッティング						
11	ヘアセッティング						
12	ヘアカラーリング					5点	
13	ヘアカラーリング						
14	定期テスト前演習・復習						
15	定期試験					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容実習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	尾崎 真由美
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	300 (10)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日～金曜日 1, 2限 3, 4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
カット、サロンワーク、カラー、シャンプー、ヘアメイク、メイクなど美容師としての技術全般を習得する。 国家試験に必要な技術の習得。							
(教員経歴) ヘアサロンで美容師として勤務していた教員が将来実践の現場で活用できる技術、知識を基礎から応用まで習得できる授業を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
卒業後即戦力となる人材になる基礎を身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ワインディング道具一式、オールウェーブ道具一式、カット道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	サロンワーク基礎①						
2	サロンワーク基礎②					5点	
3	ワインディング基礎①						
4	ワインディング基礎②					5点	
5	ワインディング基礎③						
6	シャンプー基礎①						
7	シャンプー基礎②						
8	シャンプー基礎③					中間テスト 20点	
9	カット技術基礎①						
10	カット技術基礎②					5点	
11	カット技術基礎③						
12	カラー技術基礎①						
13	カラー技術基礎②					5点	
14	マツエク基礎①						
15	マツエク基礎②					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ヘアメイクアップ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中村 友紀
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日1, 2限 水曜日3, 4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
スチール、ブライダル、PVなどのヘアメイクの現場での経験を活かし美容師になった時に撮影などで役に立つテクニックを活かせるような技術を取得していく。 ヘアアレンジではコテやピンギン、道具の使い方、アレンジの技術を基本から学び、サロンで使える様々なヘアアレンジが出来るようにメイクでは道具の種類や扱い方、メイクアップの1つ1つの技術を学び、相手に合わせたメイクアップが出来るような技術を取得していく。 ＜教員経歴＞ ヘアサロンで美容師として勤務しつつ、ヘアメイクとして様々な現場で勤務してきた。その経験をもとに、現場で活用できる技術・知識を伝える。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアアレンジ授業ではブラシやピンなどの道具を使い方から、編みこみやツイスト等のアレンジテクニックのを学び、現場で活かせる基礎を習得する。 メイクでは道具の扱い方を覚え、ベースメイクやアイメイク・骨格に合わせたチークの入れ方・リップメイクなどナチュラルメイクの基本の習得。流行や時代性に合わせたメイクを表現できるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
《メイク》メイク道具一式 タオル3枚 小さいビニール袋 タッカル ティッシュ コットン 綿棒 《ヘア》ウイッグ クランプ タオル コテ ストレートアイロン コーム ブラシ類 タッカル ピン・ゴム類							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【メイク】メイク道具のセッティングポリゴンメイク、クレンジング スキンケア・ベースメイクの基礎知識と手法						
2	【メイク】前回の授業の復習（スキンケアベースメイク小テスト） コンシーラー パウダー、ブラシの使い方・アイシャドウの基本（縦割り・横割りグラデーション）					5点	
3	【メイク】アイラインの種類別引き方・ビューラーの使い方・マスカラのつけ方						
4	【メイク】アイブロウの理論説明・種類と描き方 アイブロウ小テスト					5点	
5	【メイク】リップ・チークの理論と描き方						
6	【メイク】男性・韓国メイク					5点	
7	【メイク】女性・韓国メイク						
8	【メイク】中間試験のデモンストレーション・練習						
9	中間試験（フルメイク40分）					中間テスト 20点	
10	【ヘア】ヘア道具・ピンの種類説明 ・ ピンギンのやり方						
11	【ヘア】くるりんぱ・ツイスト・波ウェーブを使ったアレンジ小テスト						
12	【ヘア】裏・表編み込みやり方と編み込みを使ったヘアアレンジ					5点	
13	【ヘア】紐ゴムの使い方と一束のまとめ方・ポニーテール 小テスト						
14	【ヘア】期末試験のデモンストレーション・練習						
15	【ヘア】定期試験（実技試験：編み込みハーフアップ、筆記試験：メイク知識）					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容総合技術	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	金谷 毅
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	木曜日1, 2限 木曜日3, 4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
学生たちの持つイメージをスタイリングなどで表現、または具現化できるように実習を通じて授業を行い、作品を作り上げることができるようになる。							
（教員経歴） 30年以上ヘアサロンで美容師として勤務し、様々なお客様のニーズに対応してきた教員が担当。 美容師としての経験をもとに、現場で求められる最新の技術・知識を提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術、スタイリングの技術、再現性を習得。 作品撮りの基礎手順・技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
iPad、名札、エプロン、クランプ、美髪スーパーロングウィッグ、テールコーン(ピン)、ダックカール5本以上 延長コード、タオル(何色でも可、授業内容により枚数は変わる)、カールアイロン、ストレートアイロン スプレイヤー(トリートメントが入っていないもの)、シザーケース(何も入れなくて可)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	カールアイロン技術 【フォワード・リバーズ】 ストレートアイロン技術						
2	カールアイロン技術 【フォワード・リバーズ】小テスト ストレートアイロン技術					5点	
3	カールアイロン技術 【フォワード・リバーズMIX巻き】【外し巻き】 ストレートアイロン技術						
4	カールアイロン技術 【写真からヘアスタイルを再現】小テスト ウィッグカット 【波巻き】					5点	
5	カールアイロン技術 【波巻き練習】 【波巻き】小テスト						
6	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 カールアイロン技術 【レディースセット応用】					中間テスト 20点	
7	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 【相モデル アイロンワーク】						
8	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 【相モデル アイロンワーク】						
9	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 小テスト 【相モデル アイロンワーク】					5点	
10	相モデル アイロンワーク 【カメラワーク】(外部講師)						
11	相モデル アイロンワーク 中間テスト 作品撮りコンセプト作成						
12	作品撮り本番					5点	
13	フィードバック・作品撮り						
14	動画作成(外部講師)						
15	外部コンテスト作品撮り					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			